NISHINOMIYA / RACE ANALYSIS

西宮の海風と
第1上りのコース戦略

13時スタート想定｜10,000回シミュレーション

今回の結論

13時に3kt以上の海風が入り、スタートできた場合は、右海面寄りが有利。ただし左右の差は大きくないため、右への決め打ちではなく、右寄りに展開しながら風の振れを利用します。

右海面へ伸ばす	左海面へ伸ばす	中央でシフトを追う
54%	41%	4%

上マーク到着の時間差は約20秒。5,000回でも10,000回でも同様の結果でした。

計算の前提

予報どおり南南西1m/s（約2kt）のままではスタートできません。そのため「13時に3kt以上の海風が入り、スタートできた場合」に限定。1万シナリオのうち、該当したのは約2,300通りです。

実測データ：海風は右へ回る

神戸空港で海風が入った69日を分析すると、72%の日で風向が右回りでした。

海風が入ってから	風向

入り始め	南南西 197 °
30分後	215 °
1時間後	220 °
2時間後	242 °
3時間後	251 °

海風が入ってから2時間は毎時約20 ° の速さで右回りし、20分前後の第1上りの間に5〜8 ° 右へ振れます。この傾向を今回のモデルに追加しました。

実際の走り方

① 南南西で入ったばかりの海風は右へ回り続けるため、基本は右寄りに展開。

② その場の風の振れ（±20 ° 前後）は右回りの傾向より大きいので、大きなヘッダーではタック。右海面から離れすぎない範囲で振れを使います。

③ 微風では風の濃さの差が最も重要。右海面でも風の薄い帯には入らないようにします。

判断を変える条件・注意点

・13時に北東の一般風が残っていれば、左右の差はありません（どちらも38%）。海風が入ってからの時間と向きを確認してください。

・シミュレーションでは海風が12時半頃に入るケースが多く、13時の平均風向は南西231 ° 。13時に南南西で入り始めたばかりなら、計算以上に右が有利な可能性があります。

・中央でシフトを追う戦略の低い結果は、微風時のタック損失を大きく見積もるモデルの影響かもしれません。実艇ではもう少し有利な可能性があります。

分析の背景

筆者は直近1か月で西宮の風を200時間以上研究。前日の南西風では上位艇がおおむね事前予想どおり右海面を選んだ一方、多くの艇は左海面へ進んでいました。今回は午前中の延期と、昼頃からの海風による12:30〜13:00のレース開始を想定した特別分析です。

Know the Wind. Read the Sea. ｜ Kanie Report